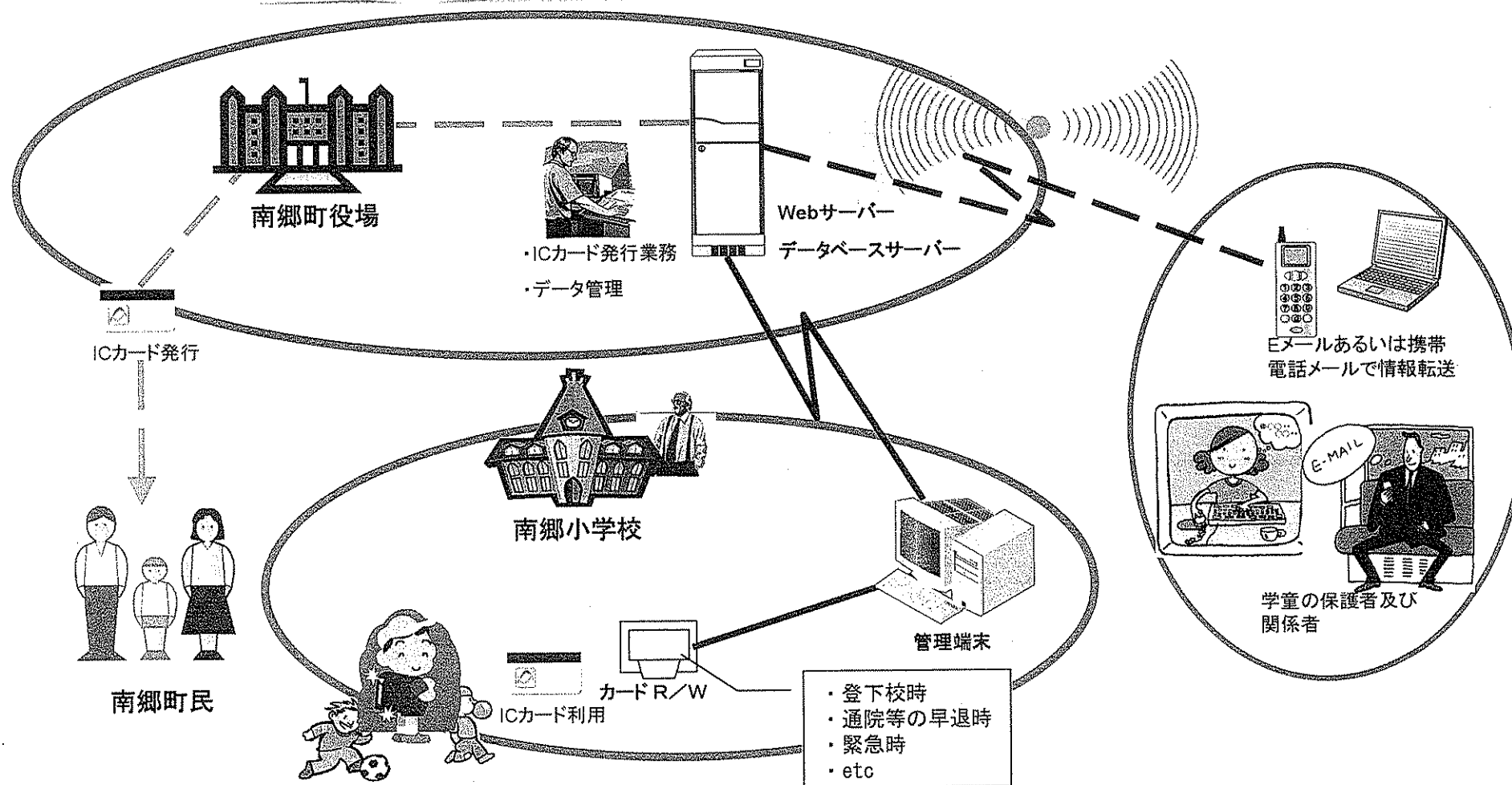


住民基本台帳カードの多目的利用例の概要

- ① 学童安心安全サービス(宮崎県南郷町)
- ② 救急活動支援サービス(水沢市、市川市)
- ③ 健康情報管理サービス(水沢市、柏崎市、南砺市、掛川市、新見市、高知県本山町、香北町、大月町)
- ④ 病院再来、検診予約サービス(大和市、水沢市、高知県大月町)
- ⑤ 公共施設予約サービス(むつ市、水沢市、大和市、三条市、柏崎市、南砺市、掛川市、羽曳野市、新見市、宮崎県南郷町)
- ⑥ 国民健康保険資格確認(高知県本山町、香北町)
- ⑦ 地域通貨(市川市、北九州市、熊本県小国町、銚子市、島根県雲南市、別府市、阿蘇市)
- ⑧ 住基カード利用テレビ会議(薩摩川内市)
- ⑨ 電子窓口ロッカー(東村山市、高知県野市町)
- ⑩ 電子マネー(荒川区<あらかわ遊園>、宮崎県高千穂町<市営バス>)
- ⑪ 図書館サービス(室蘭市、深川市、伊達市、長沼町、むつ市、愛媛県松前町、宮崎県高千穂町、南郷町 等)
- ⑫ 避難者情報管理サービス(柏崎市、橋本市、雲南市、鳥取県日南町)
- ⑬ ポイントカード((深川市、秩父別町、北竜町<公共温泉施設ポイント>、長沼町<町福祉等ポイント>、長浜市<商店街ポイント>)

(注)平成17年度に実証実験等を行う見込みのものを含む。

① 学童安心安全サービス



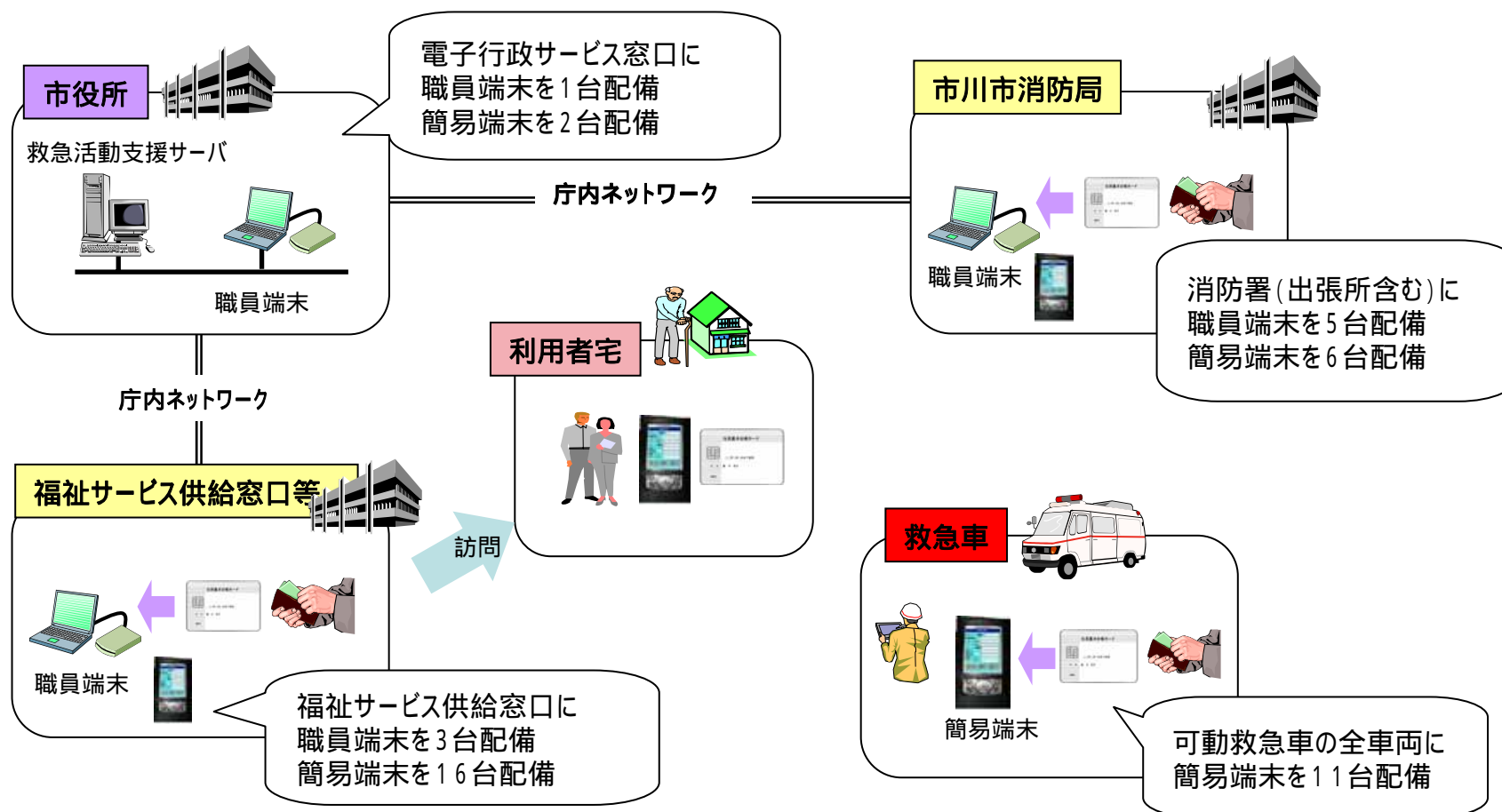
学童安心安全サービス概要について

- ・登下校時、通院等早退時、緊急時にICカードを使用し、タイムカード的な使い方を行います。
- ・予め登録しておいたアドレス宛にタイムカード情報を送信します。
- ・病気やケガといった時の迎え、及び病院への保護者対応が迅速になります。
- ・実証実験においては、1クラス30名で3クラスの南郷小学校をモデルに行います。

救急活動支援システム

救急車や医療機関等で搬送された住民の住基カードに登録されている情報を参照できること、住民が突然の事故や急病となった時、救急車内や搬送先病院で、搬送者の連絡先やかかりつけの医療機関、病歴など即座に把握でき、病状や住民ごとに適した処置を行える機能を提供している。

また、特徴としては、簡易端末を使い、救急車内で搬送者の連絡先を参照するほか、申請者の自宅等出先において情報の参照や更新ができることとしている。



健康情報管理、病院再来・公共施設予約 等

ICカード標準システム

住基ネットでの本人確認に利用

公的個人認証サービス
保存用カードとして利用

身分証明書として活用

印鑑登録証明書交
付サービス



証明書等自動
交付サービス



水沢病院再来
予約サービス



KIOSK端末



自宅等

住民基本台帳カード



水沢市



〇〇〇〇年〇〇年〇〇日まで有効
昭和〇〇年〇〇月〇〇日 性別 〇
水沢 花子
生年月日
氏名 水沢市〇〇町〇丁目〇番〇号
住所 水沢市役所 TEL0197-24-2111
連絡先

申請書等自動作成
サービス



図書検索予約
サービス



公共施設予
約サービス



救急支援サービス

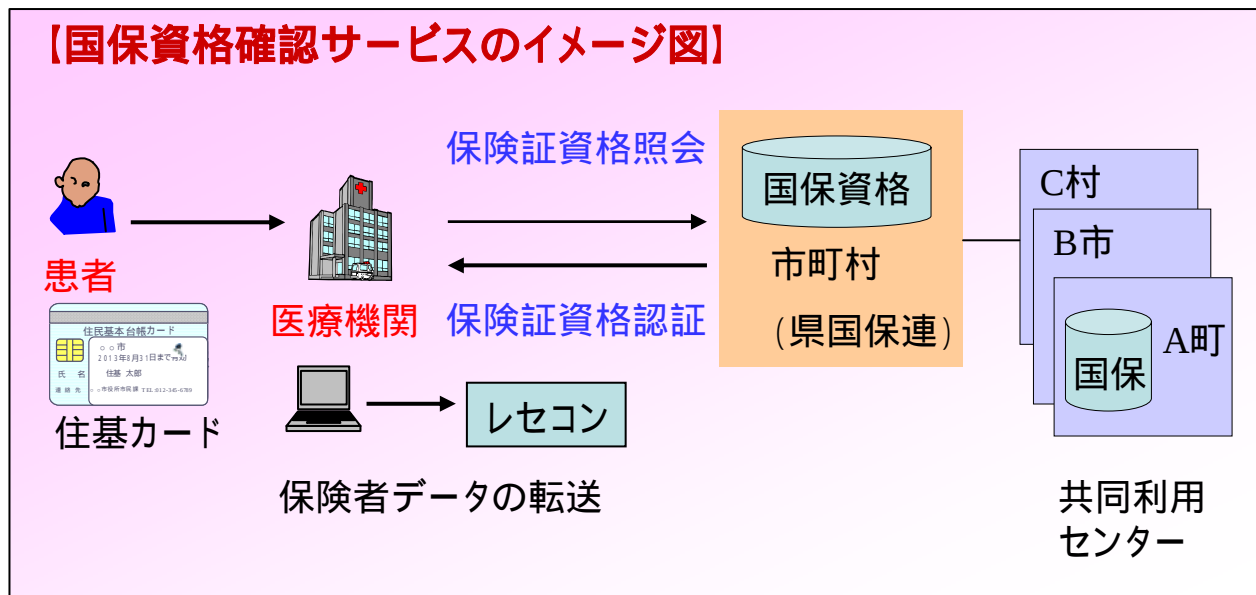


成人保健サービス



国保資格確認サービス

【国保資格確認サービスのイメージ図】

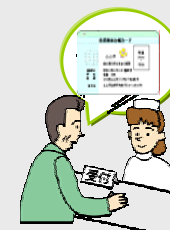


サービスの概要

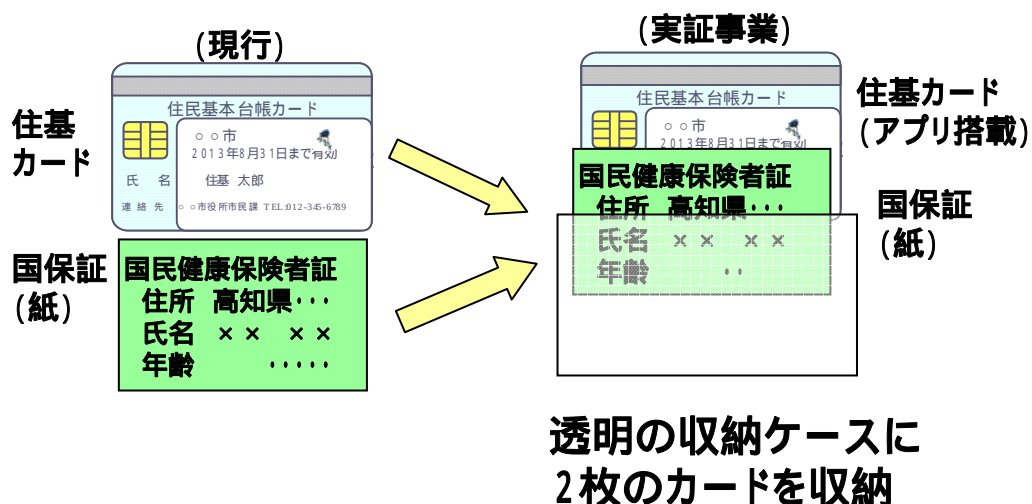
本サービスは、国保被保険者の資格確認をオンライン化することにより関係機関の業務効率化やコスト削減に繋がるとともに、住民サービスの向上を目指すものである。

“快適な医療機関”
の 受診 を目指して

“住基カード”の利用



【実証事業での国保証との連携イメージ図】



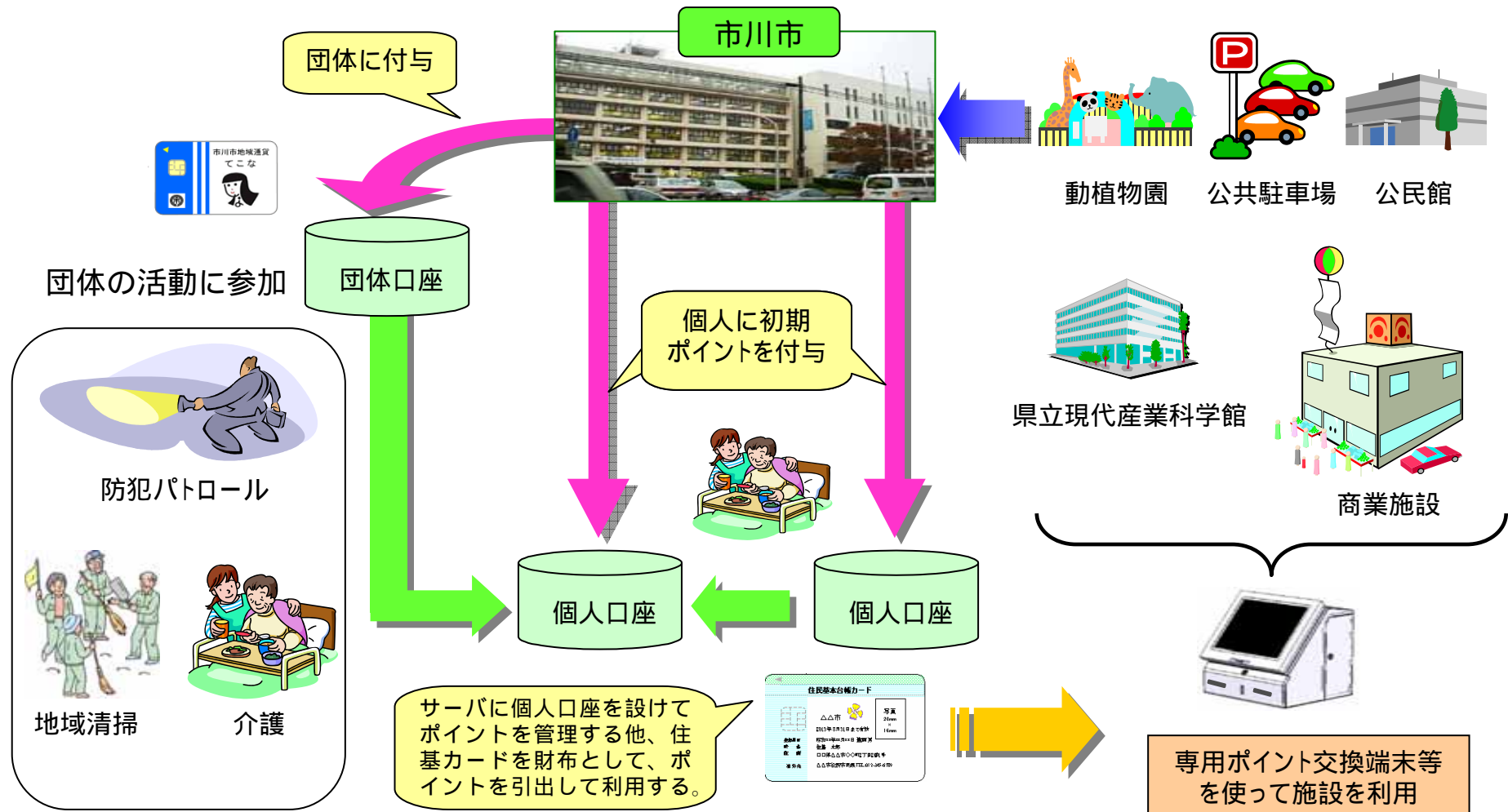
住基カードと国保被保険者証との連携方式

左図のように、国保資格確認のためのキー情報を登載した住基カードと既存の国保被保険者証の2枚のカードを、透明の収納ケースに入れて携帯する形で連携を図ることとした。

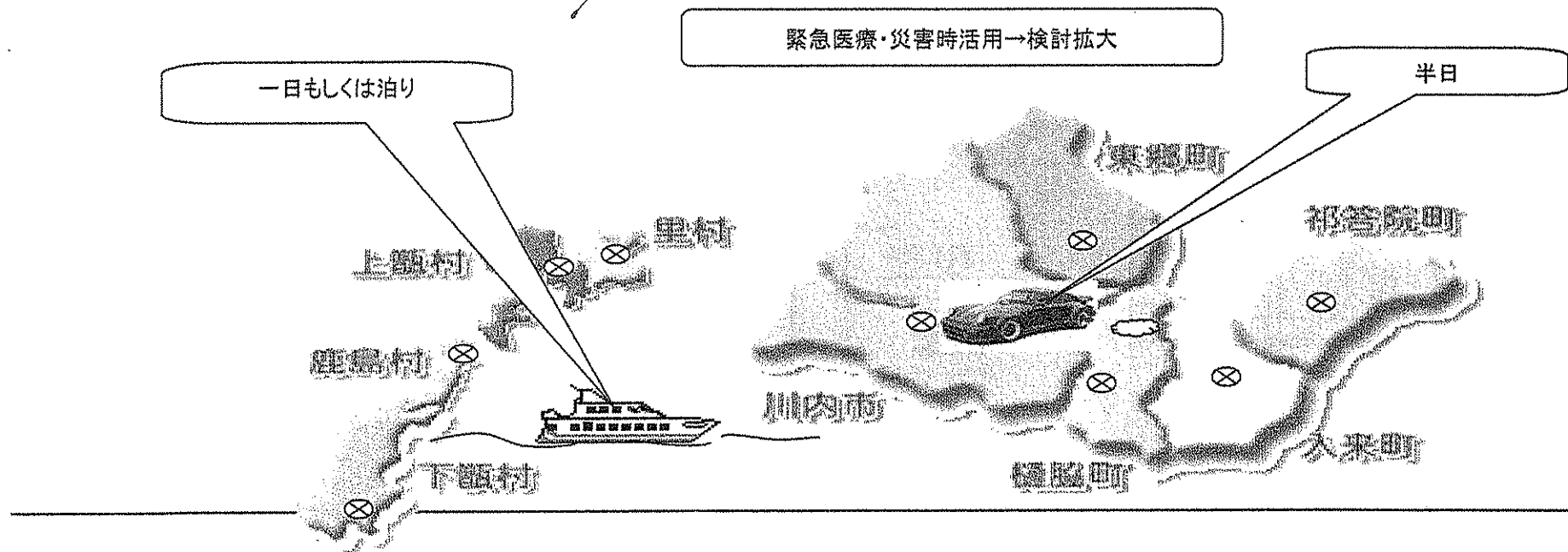
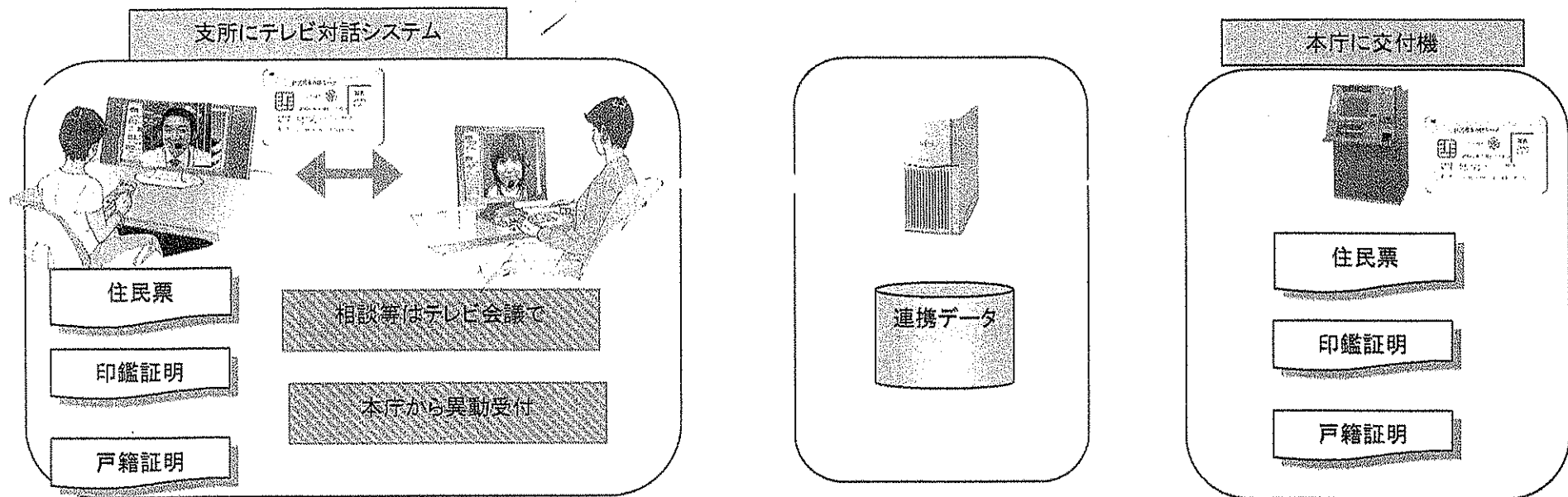
なお、この方式はあくまでも過渡的な方法であり、将来的には券面表記の見直しまで踏み込んだ住基カードと国保被保険者証の完全な統合を検討すべきと考えている。

地域通貨

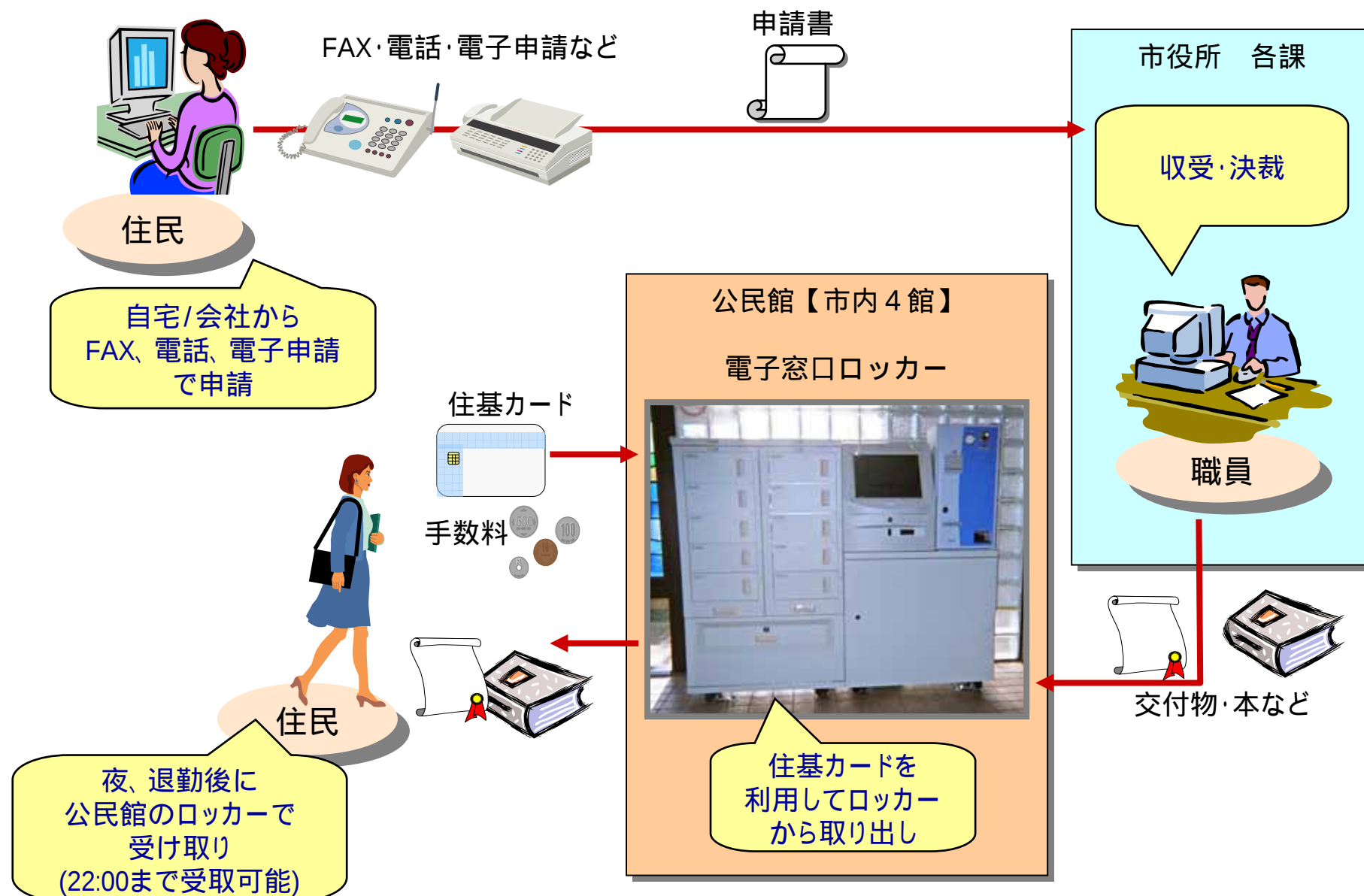
市川市が地域通貨「てこな」の発行主体となり、個人および団体の参加者で地域通貨の授受を行いました。参加した個人及び団体には初期ポイントを付与し、個人間の助け合いやボランティア団体等の活動に参加して地域通貨を得ます。また、貯まった「てこな」は、個人間の助け合いや公共施設、商業施設で利用できるようにして実証実験を行いました。



⑧ 住基カード利用テレビ会議



電子窓口ロッカー



電子マネー(あらかわ遊園)

【住基カードをお持ちの方】



入口に設置されている端末を使い、住基カードに電子マネーをチャージします



乗り物や売店の係員にカードを提示し、利用料金などを支払います



帰るときに、使い残した電子マネーを現金に換金します



【住基カードをお持ちでない方】



入口に設置されている端末を使い、あらかわ遊園カードの発行とチャージを行ないます



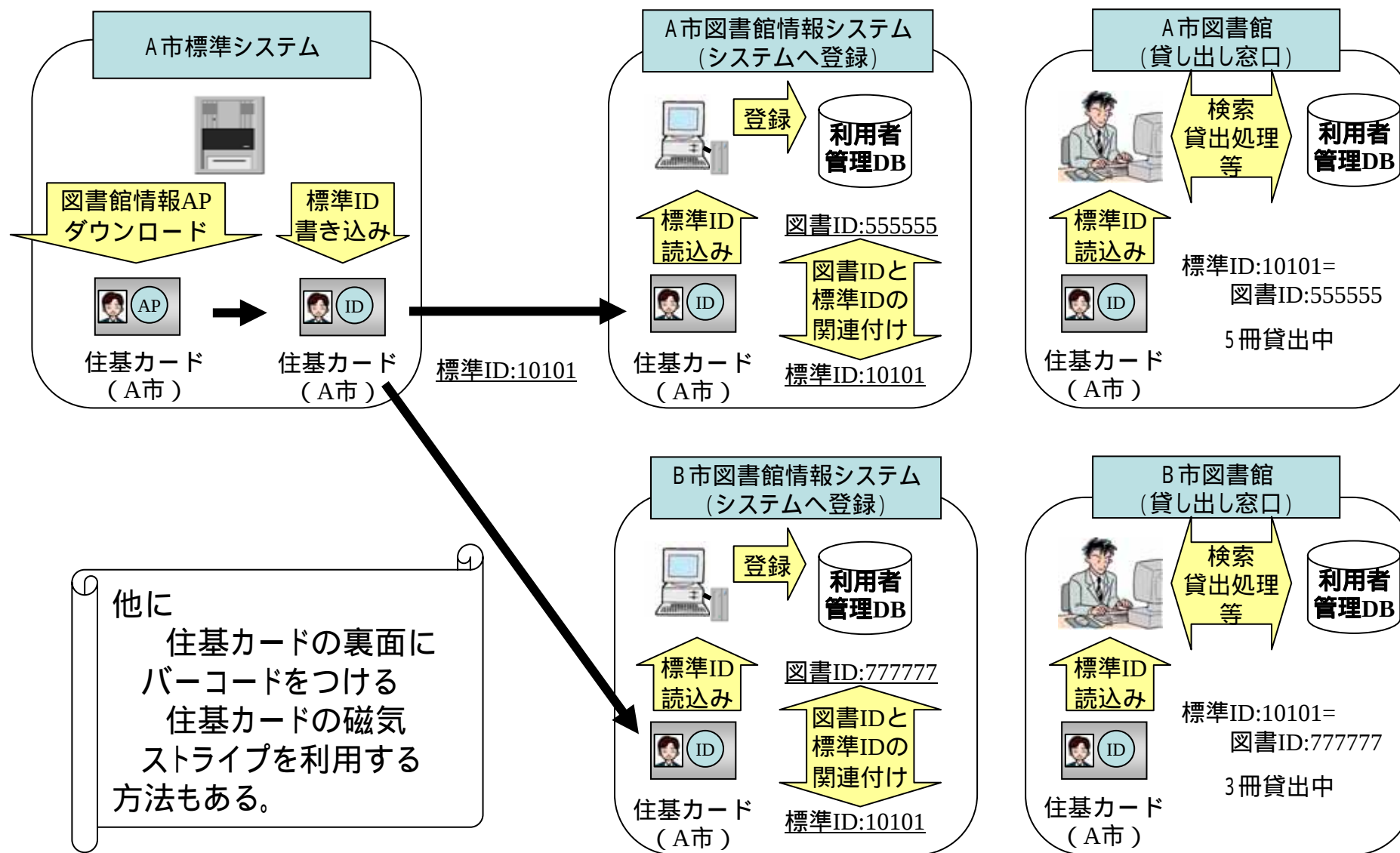
乗り物や売店の係員にカードを提示し、利用料金などを支払います



帰るときに、使い残した電子マネーを現金に換金します(カードは回収されます)



図書館情報システムの概要



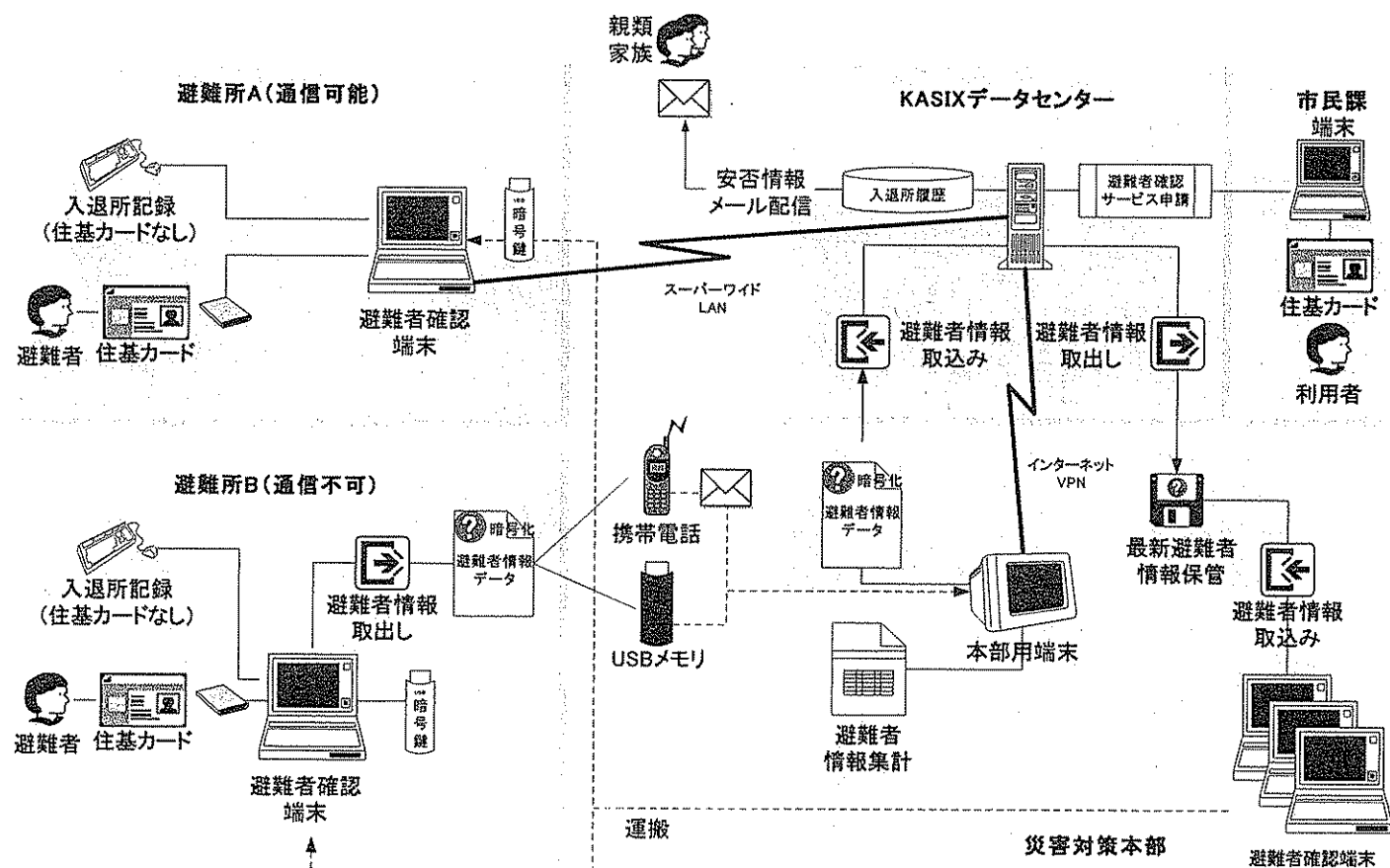
⑫ 避難者情報管理サービス

(1) サービスの概要

災害発生時に、避難所にて住基カード用いて避難者の入退所を記録し、災害対策本部で避難状況を把握するサービスである。また、避難者の入退所時に、予め登録した親類や家族等の電子メールアドレスに対して電子メールを自動配信することで、無事に避難していることを連絡できる。

(2) システムの概要

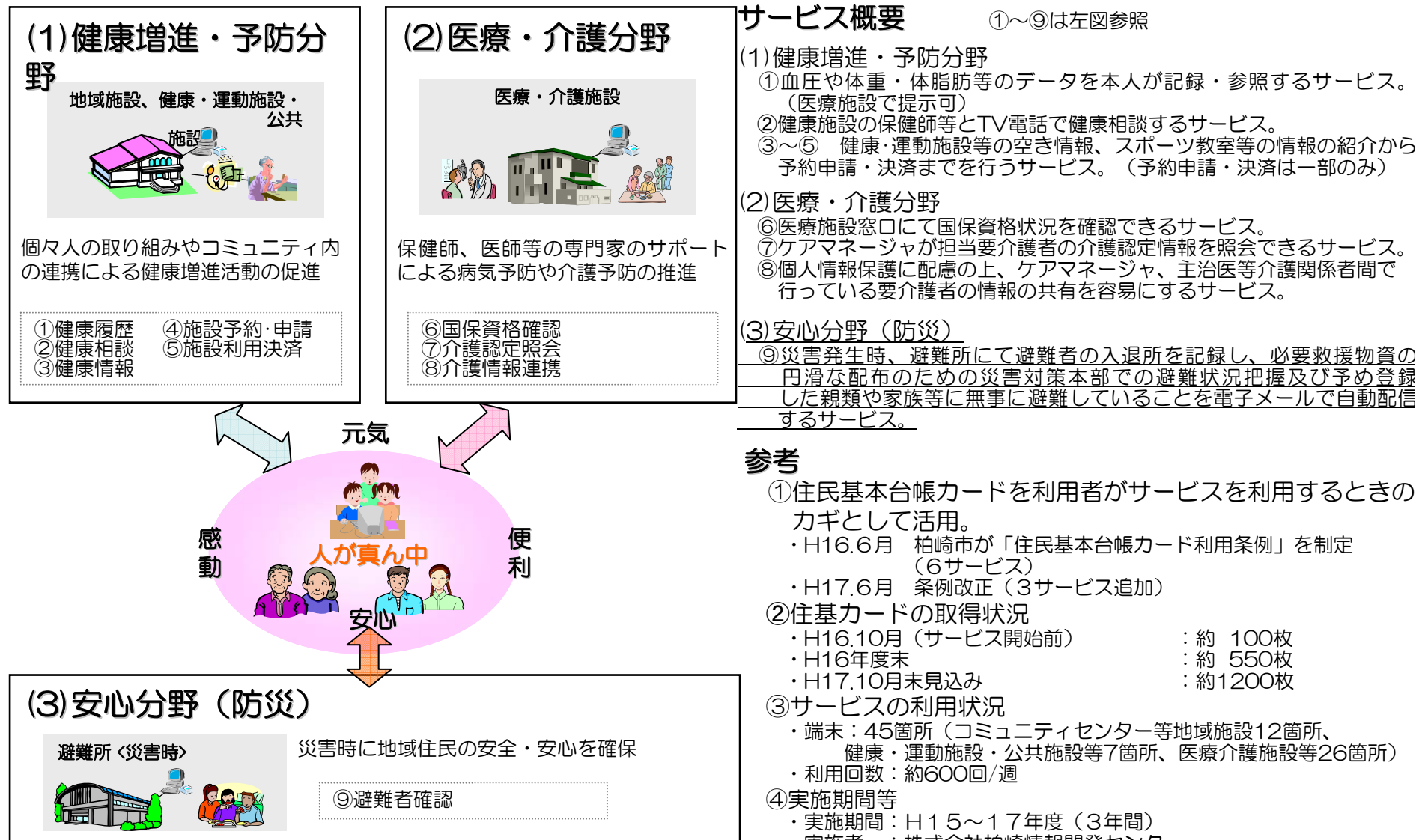
- 住基カードを用いてワンアクションで入退所を登録。カードが無い住民も手入力で登録可能。
- 収集した避難者情報をデータセンター内サーバで安全に保存。災害対策本部では、ワンクリックでスピーディーに避難者情報の収集・活用が可能。
- ネットワーク不通時も外部媒体(USBメモリ)や携帯電話の活用により稼働可能。(データは暗号化)
- あらかじめ登録した相手に、避難所への入退所情報を電子メールで自動配信。



参 考

『柏崎健康安心サービス』（電源地域情報化推進モデル事業）

柏崎市では、人口の約4分の1が65歳以上という高齢化の課題を抱えており、健康の増進、病気や介護の予防に対する住民のニーズが高まっています。本事業では、地域の現状を踏まえ、健康増進、安心の面から地域住民の生活について、IT（情報技術）を活用して支援する一連のサービスを「柏崎健康安心サービス」として提供し、元気で安心なまち柏崎の実現を目指します。

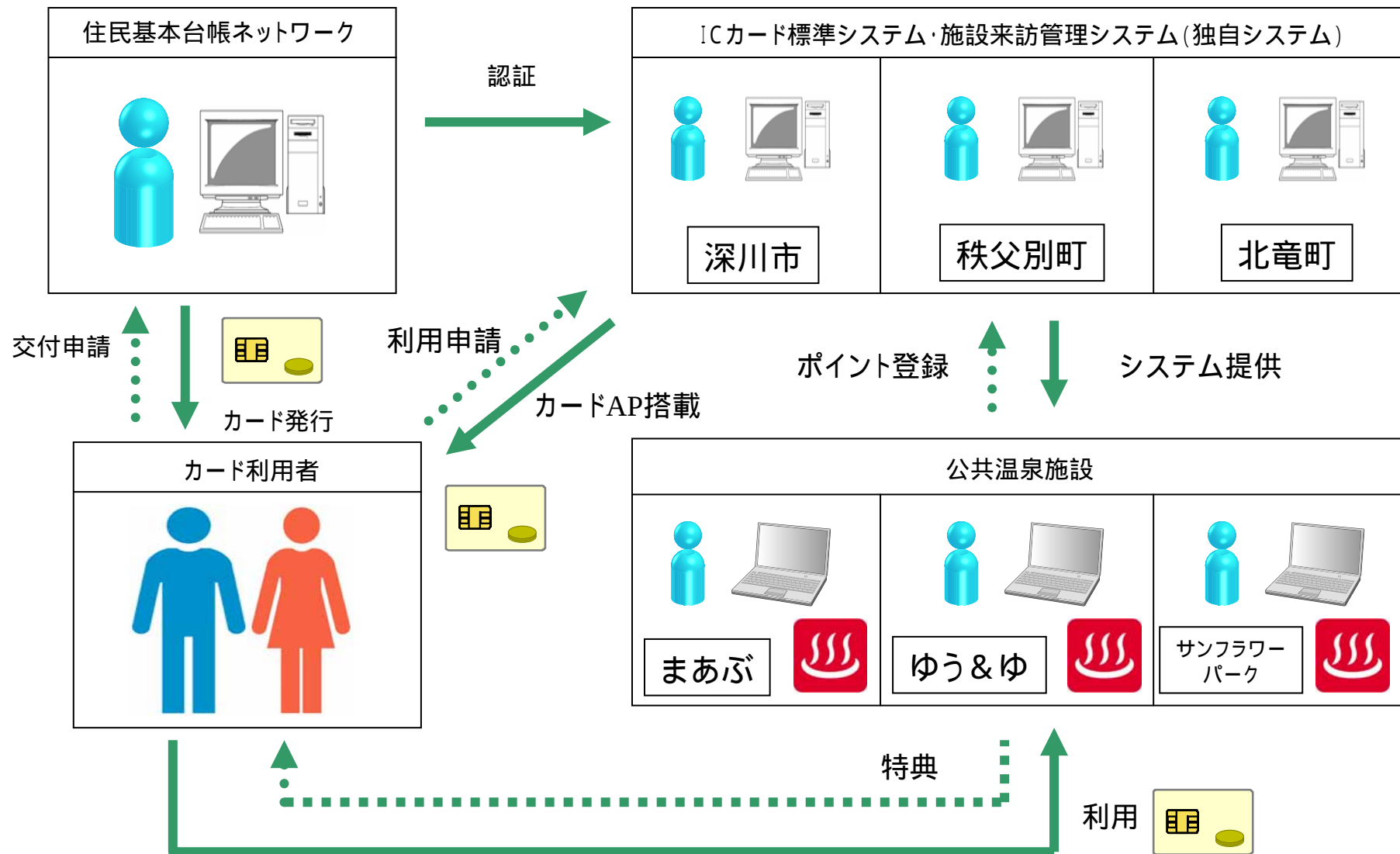


参考

- ①住民基本台帳カードを利用者がサービスを利用するときのカギとして活用。
 - ・H16.6月 柏崎市が「住民基本台帳カード利用条例」を制定（6サービス）
 - ・H17.6月 条例改正（3サービス追加）
- ②住基カードの取得状況

・H16.10月（サービス開始前）	：約 100枚
・H16年度末	：約 550枚
・H17.10月末見込み	：約1200枚
- ③サービスの利用状況
 - ・端末：45箇所（コミュニティセンター等地域施設12箇所、健康・運動施設・公共施設等7箇所、医療介護施設等26箇所）
 - ・利用回数：約600回/週
- ④実施期間等
 - ・実施期間：H15～17年度（3年間）
 - ・実施者：株式会社柏崎情報開発センター
 - ・事業規模：158百万円（H17年度）

温泉めぐりポイントサービス



ポイントサービス(商店街)

